

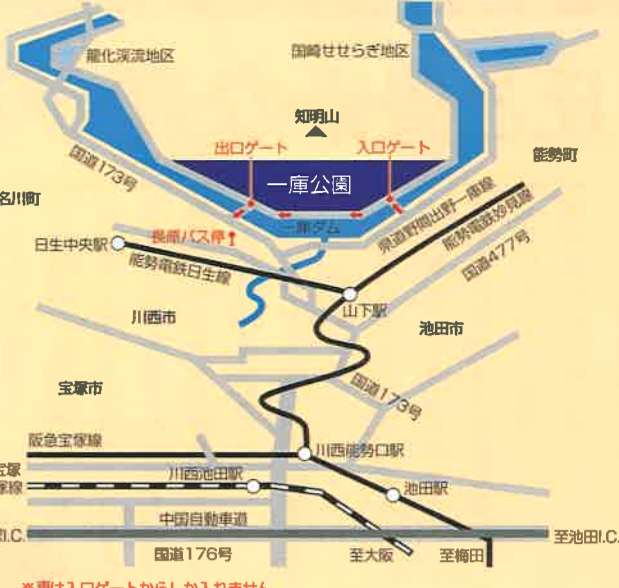
Outline

Hitokura Dam Site, planned for flood control and irrigation, was completed in April 1982. Subsequently, a new lake, "Chimyo-ko", appeared. In coordination with its completion, the Hyogo Prefectural Hitokura Park Project was launched on Mt.Chimyo, which extends out into the lake. This park aims mainly to preserve the sightseeing and natural environment around the lake, and we expect that it will be used extensively as a place for enjoying and observing nature. In the summer of 1998, Kohan-area(lakeside) and Oka-area(hills) were opened with a total area of 48.2 hectares.

Then, toward its grand open in the spring of 2002 the remaining facilities were built in succession, creating a learning area of its rich natural environment and a harmonious relation between man and nature.

We hope that this park will be used as a place for outdoor excursions, or for enjoying the beauties of lakes and forests.

Hitokura Park Management Office
1-6 Kunisaki-Chimyo, Kawanishi-shi, Hyogo
666-0103
TEL. 072-794-4970 / FAX. 072-794-4971



注意事項

- 一庫公園はゴミ発生ゼロの公園を目指しております。ゴミの持ち帰りにご協力ください。
- 公園には駐車場がありますが、環境保全のためなるべく車の利用をご遠慮ください。
- 車でお越しの場合は県道野間出野一庫線・知明りんどう橋からのみ入園可能ですが、利用時間が限られておりますのでご注意ください。

所在地

川西市国崎、一庫

開園

平成10年7月

面積

48.2ha

駐車場

湖畔の駐車場76台(一部大型兼用)・丘の駐車場72台

利用時間 9:00~17:00(10~4月)

9:00~18:00(5~9月)

無料

※大型バスのご利用は湖畔の駐車場のみとなります。あらかじめ管理事務所にお問い合わせください。

※車椅子をご利用の方、高齢者及び幼児をお連れの方は丘の駐車場をご利用ください。

交通機関

路線バス

能勢電鉄山下駅より阪急バス(西能勢線)「長原」バス停

まで約7分 公園中心部まで徒歩約30分

お問い合わせ

公益財団法人 兵庫県園芸・公園協会

一庫公園管理事務所

〒666-0103 兵庫県川西市国崎字知明1-6

TEL.072(794)4970 FAX.072(794)4971

ホームページアドレス <http://www.hyogo-park.or.jp>

表紙写真●メジロのつがい 撮影/亀田雅吉
「山溪カラー名鑑 日本の野鳥」(山と溪谷社刊)

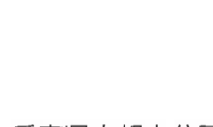
H24.4

このパンフレットは再生紙を利用しています。

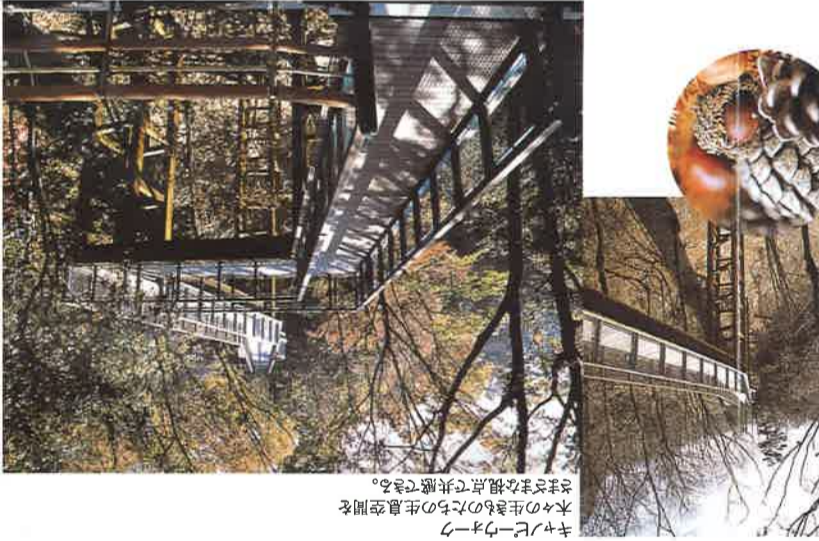
一庫公園

さわやかな緑の風と森のいぶき

Hitokura Park



兵庫県立都市公園



キャビテーション
木の生きものたちの息空間を
さまざまな視点で共感できる。



展望台



沢の休憩所

自然観察の森



炭焼窯



500段階段

施設名	区分	定員	使用料
会議室	大	40名	1,300円 2,300円 3,300円
	中	15名	800円 1,300円 1,900円
研修室	9-12時	13-17時	9-17時

但し、営業行為を行う場合は表記料金の2倍となります。



研修室

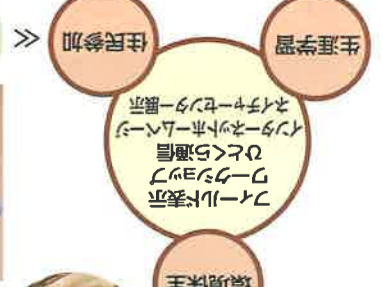


情報コーナー



休憩コーナー

ネイチャーセンターを拠点とした
ワークショップによる遊学と情報提供



Nature Center

この知明山はダム建設当時、川西市土地開発公社が買収すると共に、民間資本の導入による休耕地などの建設が計画されました。しかしこのあたりは近畿圏の近郊緑地保全区域や猪名川深谷県立自然公園にも指定され、かけがいのない自然環境が残されています。そのため川西市は緑の保全と利用の両面をよりはつきりと進めていくため、県立都市公園の整備を県に要請しました。これを受け、県は昭和57年度に県立一庫公園として都市計画に定めるとともに、知明山48.2haについて事業を進めてきました。

こうした背景から、緑の保全がこの公園の重要な役割ですが、地域の重要な課題であるダム湖の環境保全にも配慮した公園整備を進めてきました。またこのような自然環境の保全には、何よりも自然に親しみ、自然を理解することが欠かせません。そのため公園と自然学習の場としても位置付け、自然と人、さらには人ととの出会いの場として整備されました。



あらし
一庫ダムの湖水面に突き出た
緑豊かな半島「知明山」に、兵